

学校だより
1月号

つなしま



令和5年12月25日
横浜市立綱島小学校

【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

人権について考える

校長 金森孝子

12月5日(火)のテレビ朝会で、次のような話をしました。

「12月4日から12月10日は、日本全国で『人権週間』が実施されます。人権は、簡単な言葉でいうと「人間が人間らしく生きる権利」です。また、12月10日は、人権の日、世界人権デーです。地球規模で、人権について考える日です。」

「人権の日は、今から、75年前の1948年に定められました。20世紀に2回の世界中を巻き込んだ戦争が起こり、非常に多くの人々がなくなりました。その反省から、『人権を守ることが世界平和の基礎』と考えられ、定められたのです。『人権を守る』。これは、とても、当たり前なことのようになって、実は、とても難しいことです。設定から75年経ても、人権が大切といわれてから75年間たっても、この問題は解決されていません。むしろ新しい問題が生まれてきています。今から、映像を流しますので、その難しさについて考えてみてください。」

【映像を流す】法務局 人権啓発動画「『誰か』のことじゃない。」いじめ編

「今観てもらったネットでの『いじり』、いじめ、SNSでの誹謗・中傷、ヘイトスピーチなどが、今、大きな人権問題となっています。自分は守れている、と思っていても、気付かないうちに、そうではない行動をとってしまうことがあります。自分の行動や言葉について考える、そんな人権週間にしてください。『誰かのこと』ではなく、自分自身、自分の周りで起こっている問題なのです。」



綱島小学校では、今年度12月4日(月)から15日(金)の2週間で「人権週間」とし、「いじめ防止」を中心テーマに掲げ、「児童が身近な生活を振り返り、みんなが安心して気持ちよく生活していくためにはどうしたらよいか考え、人権意識を高める」と目的を定めて取組を進めました。人権課題「障害」「いじめ」「平等・差別」の3つを3年間かけて順に取り上げ、6年間で二巡するようにしています。道徳や特別活動での学習、学年に応じたYP(子どもの社会的スキル横浜プログラム)の実施、人権意識を高める環境整備、図書コーナーの設置など、取組内容を検討する中で教職員自身の人権感覚も共に高められるようにしています。

2023年、新たな戦争が起こりました。解決の糸口となるのは「人権」と考えます。ご家庭でも、身近な人権について話題にいただければ幸いです。どうぞ、よいお年をお迎えください。

各学年の取組の掲示(中央階段 2階ホール)